（別紙様式４）

令和8年10月2日

職業実践専門課程等の基本情報について

学校名	設置認可年月日	校長名	所在地
仙台総合ビジネス公務員専門学校	昭和51年3月31日	菅原　一博	〒　980-0014 （住所）　宮城県仙台市青葉区本町一丁目15-1 （電話）　022-221-1113
設置者名	**設立認可年月日**	**代表者名**	**所在地**
学校法人菅原学園	昭和35年3月26日	菅原　一博	〒　980-0014 （住所）　宮城県仙台市青葉区本町二丁目11-10 （電話）　022-221-1111

分野	認定課程名	認定学科名	専門士認定年度	高度専門士認定年度	職業実践専門課程認定年度
商業実務	商業実務専門課程	フラワー科 フラワーショップ専攻	平成22(2010)年度		平成30(2018)年度

学科の目的	花卉業界の第一線を担うため、知識・技術・コミュニケーション能力を身につけ、現場で即戦力として働ける人材育成を行う
学科の特徴（取得可能な資格、中退率　等）	取得可能な資格：フラワー装飾技能士、フラワーデザイナー資格検定試験、ハーブインストラクター、食空間コーディネーター、色彩検定、リテールマーケティング（販売士）検定試験、簿記能力検定、文書処理能力検定、社会人常識マナー　など

修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数		講義	演習	実習	実験	実技
2 年	昼間	※単位時間、単位いずれかに記入	1,860 単位時間	810 単位時間	120 単位時間	210 単位時間	0 単位時間	1,440 単位時間
			83 単位	54 単位	4 単位	7 単位	0 単位	48 単位

生徒総定員	生徒実員(A)	留学生数（生徒実員の内数）(B)	留学生割合(B/A)	中退率
50 人	56 人	0 人	0 %	6 %

就職等の状況

■卒業者数（C）	: 20	人
■就職希望者数（D）	: 20	人
■就職者数（E）	: 17	人
■地元就職者数（F）	10	人
■就職率（E/D）	85	%
■就職者に占める地元就職者の割合（F/E）	50	%
■卒業者に占める就職者の割合（E/C）	85	%
■進学者数	0	人

■その他

卒業者数の割合等はフラワー科全体の情報です

（令和　　7 年度卒業者に関する令和8年５月１日時点の情報）

■主な就職先、業界等

（令和7年度卒業生）

株式会社TRUNK、株式会社太田花き、木本生花株式会社、株式会社日本セレモニー、株式会社日比谷花壇、株式会社ビューティーカダンホールディングス、株式会社リベルテ、株式会社サンフローリスト、株式会社ゴトウ花店　ゴトウフローリスト、株式会社清月記　など

第三者による学校評価

■民間の評価機関等から第三者評価：　無

※有の場合、例えば以下について任意記載

評価団体：　　受審年月：　　評価結果を掲載したホームページＵＲＬ

当該学科のホームページURL

https://www.sbs.ac.jp/

企業等と連携した実習等の実施状況（Ａ、Ｂいずれかに記入）

（Ａ：単位時間による算定）

総授業時数	1,860 単位時間
うち企業等と連携した実験・実習・実技の授業時数	0 単位時間
うち企業等と連携した演習の授業時数	0 単位時間
うち必修授業時数	0 単位時間
うち企業等と連携した必修の実験・実習・実技の授業時数	0 単位時間
うち企業等と連携した必修の演習の授業時数	0 単位時間
（うち企業等と連携したインターンシップの授業時数）	120 単位時間

（Ｂ：単位数による算定）

総単位数	83 単位
うち企業等と連携した実験・実習・実技の単位数	0 単位
うち企業等と連携した演習の単位数	0 単位
うち必修単位数	0 単位
うち企業等と連携した必修の実験・実習・実技の単位数	0 単位
うち企業等と連携した必修の演習の単位数	0 単位
（うち企業等と連携したインターンシップの単位数）	4 単位

教員の属性（専任教員について記入）

① 専修学校の専門課程を修了した後、学校等においてその担当する教育等に従事した者であって、当該専門課程の修業年限と当該業務に従事した期間とを通算して六年以上となる者	（専修学校設置基準第41条第1項第1号）	3 人
② 学士の学位を有する者等	（専修学校設置基準第41条第1項第2号）	0 人
③ 高等学校教諭等経験者	（専修学校設置基準第41条第1項第3号）	1 人
④ 修士の学位又は専門職学位	（専修学校設置基準第41条第1項第4号）	0 人
⑤ その他	（専修学校設置基準第41条第1項第5号）	1 人
計		5 人

上記①～⑤のうち、実務家教員（分野におけるおおむね５年以上の実務の経験を有し、かつ、高度の実務の能力を有する者を想定）の数	3 人

1.「専攻分野に関する企業、団体等（以下「企業等」という。）との連携体制を確保して、授業科目の開設その他の教育課程の編成を行っていること。」関係

（1）教育課程の編成（授業科目の開設や授業内容・方法の改善・工夫等を含む。）における企業等との連携に関する基本方針

「専門教育」と「人間教育」の両立を目指すCAREER　COLLEGE　菅原学園の本校は、時代の変化に即応し、今必要とされる資格、技能、技術を確実に取得できるよう専門教育に力を入れるために企業側と連携することを基本方針をしている。そして、企業側と連携することにより、学生一人ひとりの「実学の実践」「人間性の向上」「社会への貢献」を目指している。

（2）教育課程編成委員会等の位置付け

※教育課程の編成に関する意思決定の過程を明記

本校が、実践的かつ専門的な職業教育を実施するために企業等との連携を通じて必要な情報の把握・分析を行い、編成授業科目の開設や授業内容・方法の改善・工夫等を教育課程（カリキュラム）に活かすことを目的としている。「業界における人材の専門性の動向」「国または地域の産業振興の方向性」「実務に必要な最新の知識・技術・技能」「教育課程の編成に関連する事項」等を検討する。

（3）教育課程編成委員会等の全委員の名簿

令和8年4月1日現在

名　前	所　　属	任期	種別
関口　秀之	菅原章博税理士事務所	令和8年4月1日～令和9年3月31日（1年）	③
上田　佳子	株式会社うえだ	令和8年4月1日～令和9年3月31日（1年）	③
日下　将行	みどりやフローリスト	令和8年4月1日～令和9年3月31日（1年）	③
西谷　成昭	日本ビジネスマネジメント学会	令和8年4月1日～令和9年3月31日（1年）	②
成田　理恵	株式会社セノン	令和8年4月1日～令和9年3月31日（1年）	③
佐藤　浩之	仙台総合ビジネス公務員専門学校　副校長	令和8年4月1日～令和9年3月31日（1年）	―
熊倉　正浩	仙台総合ビジネス公務員専門学校　教務部部長 総合ビジネス科学科長	令和8年4月1日～令和9年3月31日（1年）	―
佐藤　僚	仙台総合ビジネス公務員専門学校　学生課課長	令和8年4月1日～令和9年3月31日（1年）	―
佐藤　結衣	仙台総合ビジネス公務員専門学校 ファッションビジネス科主任	令和8年4月1日～令和9年3月31日（1年）	―
伊藤　紫穏	仙台総合ビジネス公務員専門学校 フラワー科	令和8年4月1日～令和9年3月31日（1年）	―

※委員の種別の欄には、企業等委員の場合には、委員の種別のうち以下の①～③のいずれに該当するか記載すること。

（当該学校の教職員が学校側の委員として参画する場合、種別の欄は「－」を記載してください。）

①業界全体の動向や地域の産業振興に関する知見を有する業界団体、職能団体、地方公共団体等の役職員（1企業や関係施設の役職員は該当しません。）

②学会や学術機関等の有識者

③実務に関する知識、技術、技能について知見を有する企業や関係施設の役職員

（4）教育課程編成委員会等の年間開催数及び開催時期

（年間の開催数及び開催時期）

年2回　（8月、2月）

（開催日時（実績））

第1回　令和8年8月3日　13:00～14:00

第2回　令和9年2月開催予定　14:00～15:00

（5）教育課程の編成への教育課程編成委員会等の意見の活用状況

※カリキュラムの改善案や今後の検討課題等を具体的に明記。

本学科における教育カリキュラムおよび目指すべき人材育成像は、フラワー業界より一定の理解と評価を得ている。今後はこの評価を維持しつつ、花卉（かき）に関する知識や水揚げ技術をはじめとする基礎教育の更なる充実を図る。加えて、生花店等の現場で必要とされる商品制作や顧客対応といった実務スキルの修得を目的とし、産業界（企業）と連携した実践的なカリキュラムの導入を検討していく。

2.「企業等と連携して、実習、実技、実験又は演習（以下「実習・演習等」という。）の授業を行っていること。」関係

（1）実習・演習等における企業等との連携に関する基本方針

企業と連携し学内で学んだ実技を現場で実践し、必要とされるスキルの定着化を図る。また卒業後、即戦力として活躍できる人材を育成するため現場力を身につける。

（2）実習・演習等における企業等との連携内容

※授業内容や方法、実習・演習等の実施、及び生徒の学修成果の評価における連携内容を明記

インターンシップではフラワー業界の職業理解を深めるとともに、就業意識を高め就職に結びつくよう連携を図る。企業評価、自己評価を行うことにより、客観的な振り返りを行い、双方の認識のずれを解消し、理解を深める。

（3）具体的な連携の例※科目数については代表的な5科目について記載。

科　目　名	企業連携の方法	科　目　概　要	連　携　企　業　等
企業実習（1）	4.【校外】企業等が主催するインターンシップ等（学科が主体的に企画していないものを指す。）	ガーデニングに必要となるデザインやレイアウトの基礎を学ぶ	木本生花株式会社　など
企業実習（2）	4.【校外】企業等が主催するインターンシップ等（学科が主体的に企画していないものを指す。）	国語、算数、英語など基礎学力向上のための知識を学ぶ	株式会社とうほくフラワーサポート

3.「企業等と連携して、教員に対し、専攻分野における実務に関する研修を組織的に行っていること。」関係

（1）推薦学科の教員に対する研修・研究（以下「研修等」という。）の基本方針
※研修等を教員に受講させることについて諸規程に定められていることを明記

教職員に対し、本学園の基本理念に対する理解を徹底し、自己の責務を正しく認識させるとともに、職務に必要な実践的かつ専門的な知識、技術および技能の習得と広い視野の涵養を目的としている。特に、企業との連携して職務遂行に必要な実践的、専門的知識、技術および技能の習得や向上、広い視野の涵養を図る。なお、「教育研修規定」を設けて運用している。

（2）研修等の実績
①専攻分野における実務に関する研修等

研修名：	フラワーデザインデモンストレーション	連携企業等：	公益社団法人日本フラワーデザイナー協会
期間：	令和7年5月24日(土)	対象：	公益社団法人日本フラワーデザイナー協会会員
内容	初夏の自然から		

研修名：	フラワーデザインデモンストレーション	連携企業等：	公益社団法人日本フラワーデザイナー協会
期間：	令和8年2月22日(日)	対象：	公益社団法人日本フラワーデザイナー協会会員
内容	春の花時間～魅せるデザインとテクニック～		

②指導力の修得・向上のための研修等

研修名：	広報セミナー	連携企業等：	菅原学園
期間：	令和7年7月28日（月）	対象：	教職員
内容	専門学校志願者の意識調査から考える学生募集戦略について		

研修名：	中堅教職員研修	連携企業等：	一般社団法人宮城県専修学校各種学校連合会
期間：	令和7年12月2日（火）	対象：	専任教職員
内容	双方のコミュニケーション作り		

研修名：	管理者・監督者研修	連携企業等：	一般社団法人宮城県専修学校各種学校連合会
期間：	令和8年2月27日（金）	対象：	専任教職員
内容	薬物、匿流、ストーカー防止対策		

（3）研修等の計画
①専攻分野における実務に関する研修等

研修名：	フラワーデザイン講習会	連携企業等：	公益社団法人日本フラワーデザイナー協会
期間：	令和9年2月28日(日)	対象：	公益社団法人日本フラワーデザイナー協会会員
内容	春のトレンドデザインについて技術を学ぶ		

②指導力の修得・向上のための研修等

研修名：	教員研修	連携企業等：	菅原学園
期間：	令和8年4月1日（水）	対象：	教職員
内容	誰かのために生きるということ～教員としての生き方・在り方を再考する～		

研修名：	中堅教職員研修	連携企業等：	一般社団法人宮城県専修学校各種学校連合会
期間：	令和8年12月頃	対象：	専任教職員
内容	未定		

研修名：	管理者・監督者研修	連携企業等：	一般社団法人宮城県専修学校各種学校連合会
期間：	令和9年3月頃	対象：	専任教職員
内容	未定		

4.「学校教育法施行規則第189条において準用する同規則第67条に定める評価を行い、その結果を公表していること。また、評価を行うに当たっては、当該専修学校の関係者として企業等の役員又は職員を参画させていること。」関係

（1）学校関係者評価の基本方針

教育理念・目的・人材育成像、学校運営、教育活動、学修成果、学生支援、教育環境、学生募集と受け入れ、財務、法令等の遵守等について評価を行なう本校が、実践的かつ専門的な職業教育にかかる活動等を評価し、その自己評価結果を企業等の役職員および学校関係者と評価することにより、学生等が関係業界等のニーズを踏まえた質の高い職業教育を享受することを目的としている。

（2）「専修学校における学校評価ガイドライン」の項目との対応

ガイドラインの評価項目	学校が設定する評価項目
（1）教育理念・目標	教育理念・目的・人材育成像等
（2）学校運営	ガイドラインと同じ
（3）教育活動	ガイドラインと同じ
（4）学修成果	教育成果
（5）学生支援	ガイドラインと同じ
（6）教育環境	ガイドラインと同じ
（7）学生の受入れ募集	学生募集と受け入れ
（8）財務	ガイドラインと同じ
（9）法令等の遵守	ガイドラインと同じ
（10）社会貢献・地域貢献	ガイドラインと同じ
（11）国際交流	

※（10）及び（11）については任意記載。

（3）学校関係者評価結果の活用状況

委員から一定の評価をいただいたが、教育環境の更なる充実を計るため、防災対策についての意見をいただいた。委員の方々が所属している企業・団体での経験談など興味深い情報の提供があったため、本校でも取り入れられるものから早急に着手し、学生の安全確保に務めることとした。

（4）学校関係者評価委員会の全委員の名簿

名　前	所　　属	任期	種別
関口　秀之	菅原章博税理士事務所	令和8年4月1日～令和9年3月31日（1年）	企業
上田　佳子	株式会社うえだ	令和8年4月1日～令和9年3月31日（1年）	企業
佐藤　若菜	株式会社ハナサク	令和8年4月1日～令和9年3月31日（1年）	企業
成田　理恵	株式会社セノン	令和8年4月1日～令和9年3月31日（1年）	企業
加藤　未怜	株式会社ハナサク	令和8年4月1日～令和9年3月31日（1年）	卒業生

※委員の種別の欄には、学校関係者評価委員として選出された理由となる属性を記載すること。
（例）企業等委員、PTA、卒業生等

（5）学校関係者評価結果の公表方法・公表時期

（ホームページ　・　広報誌等の刊行物　・　その他（　　））

URL：　https://www.sbs.ac.jp/sugawara/professional-practice-course

公表時期：　令和8年10月1日

5.「企業等との連携及び協力の推進に資するため、企業等に対し、当該専修学校の教育活動その他の学校運営の状況に関する情報を提供していること。」関係

（1）企業等の学校関係者に対する情報提供の基本方針

本校では、学校教育法第四十三条および私立学校法第四十七条に準じて情報をホームページ等で公開している。情報公開により、学生・保護者・採用企業・地域社会に対して責任を追っていることを認識し、開かれた学校を目指している。

（2）「専門学校における情報提供等への取組に関するガイドライン」の項目との対応

ガイドラインの項目	学校が設定する項目
（1）学校の概要、目標及び計画	教育目的、人財育成像等
（2）各学科等の教育	各学科コースの教育内容
（3）教職員	各学科コースの教育内容
（4）キャリア教育・実践的職業教育	就職指導、就職実績
（5）様々な教育活動・教育環境	学習施設、設備
（6）学生の生活支援	学生支援
（7）学生納付金・修学支援	納入金、学費支援制度
（8）学校の財務	財務状況
（9）学校評価	自己評価、学校関係者評価
（10）国際連携の状況	
（11）その他	

※（10）及び（11）については任意記載。

（3）情報提供方法

（ホームページ ・ 広報誌等の刊行物 ・ その他（ ））

URL： https://www.sbs.ac.jp/sugawara/professional-practice-course

公表時期： 令和8年10月1日

授業科目等の概要

	（商業実務専門課程　フラワー科フラワーショップ専攻）																
	分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業時数	単位数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
	必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任	
1	○			ビジネスソフト実習(1)	Word、Excelの基本操作を学ぶ（文書処理能力検定合格を目指す）	1通	60	2			○	○		○		
2	○			ビジネスマナー(1)	接客スタッフとして必要な言葉遣い、敬語、対応などを学ぶ（社会人常識マナー検定合格を目指す）	1通	60	4	○			○		○		
3	○			広告デザイン	販促活動で使用する広告制作を学ぶ	1通	60	2			○	○			○	
4	○			簿記原理	簿記の基本原理を理解し、個人商店を前提に複式簿記の基礎を学ぶ（簿記能力検定合格を目指す）	1通	120	8	○			○			○	
5	○			販売士	販売の基礎知識を身につけ接客について学ぶ（リテールマーケティング検定合格を目指す）	1通	90	6	○			○			○	
6	○			キャリアデザイン(1)	就職指導、個別進路指導、カウンセリングなど	1通	60	4	○			○			○	
7	○			ビジネスソフト実習(2)	Word、Excelの応用操作を学ぶ（文書処理能力検定合格を目指す）	2通	60	2			○	○			○	
8	○			キャリアデザイン(2)	就職指導、個別進路指導、カウンセリングなど	2通	120	8	○			○		○		
9	○			フラワーアレンジメントベーシック	フラワーアレンジメントの基礎を学ぶ（フラワーデザイナー検定合格を目指す）	1通	60	2			○	○		○	○	
10	○			フラワーアレンジメントライセンス(1)	フラワーアレンジメントの基礎を学ぶ（フラワーデザイナー検定合格を目指す）	1通	60	2			○	○		○	○	
11	○			ブーケ(1)	フラワーアレンジメントの基礎を学ぶ（フラワーデザイナー検定合格を目指す）	1通	60	2			○	○		○	○	
12	○			コサージ(1)	フラワーアレンジメントの基礎を学ぶ（フラワーデザイナー検定合格を目指す）	1通	60	2			○	○		○	○	

13	○			花束及びリボン(1)	フラワーアレンジメントの基礎を学ぶ（フラワーデザイナー検定合格を目指す）	1通	60	2			○	○		○	○	
14	○			ハーブ(1)	ハーブの生態や効能、アロマを学ぶ（ハーブインストラクター合格を目指す）	1通	60	2			○	○			○	
15	○			フラワーカラーコーディネイト(1)	色彩、配色効果を習得し花の色合わせを学ぶ（色彩検定合格を目指す）	1通	60	4	○			○			○	
16	○			業界研究	花卉業界の動向、今後について学ぶ	1通	60	4	○			○		○		
17	○			フラワーショップ論	フラワーショップの仕組みを学び、フラワーショップを運営する	2通	90	3			○	○		○		
18	○			フラワーアレンジメントアドバンス	フラワーアレンジメントの応用を学ぶ（フラワーデザイナー検定合格、フラワー装飾技能士取得を目指す）	2通	60	2			○	○		○	○	
19	○			フラワーアレンジメントライセンス(2)	フラワーアレンジメントの応用を学ぶ（フラワーデザイナー検定合格、フラワー装飾技能士取得を目指す）	2通	60	2			○	○		○	○	
20	○			ブーケ(2)	フラワーアレンジメントの応用を学ぶ（フラワーデザイナー検定合格、フラワー装飾技能士取得を目指す）	2通	60	2			○	○		○	○	
21	○			コサージ(2)	フラワーアレンジメントの応用を学ぶ（フラワーデザイナー検定合格、フラワー装飾技能士取得を目指す）	2通	60	2			○	○		○	○	
22	○			花束及びリボン制作(2)	フラワーアレンジメントの応用を学ぶ（フラワーデザイナー検定合格、フラワー装飾技能士取得を目指す）	2通	60	2			○	○		○	○	
23	○			フラワーカラーコーディネイト(2)	色彩、配色効果を習得し花の色合わせを学ぶ（色彩検定合格を目指す）	2通	60	4	○			○			○	
24	○			ラッピング＆キャリング	花束やアレンジメントなどのラッピング方法を学ぶ	2前	30	1			○	○			○	
25	○			ハーブ(2)	ハーブの生態や効能、アロマを学ぶ（ハーブインストラクター合格を目指す）	2前	30	1			○	○			○	
26	○			卒業研究	ニーズに合わせた商品開発を学ぶ	2通	120	4			○	○			○	
27		○		企業実習(1)	インターンシップを行い、業界を理解する	1後	60	2			○		○	○		○

28		○		就職対策	エントリー、面接、SPI対策	1後	60	4	○			○		○		
29		○		テーブルデザイン	日本、西洋の食文化を知り、食空間を彩る花について学ぶ	1後	60	2			○	○			○	
30		○		華道	日本古来の文化、花を学ぶ （小原流本科取得を目指す）	1通	60	2			○	○			○	
31		○		ガーデンデザイン(1)	ガーデニングに必要となるデザインやレイアウトの基礎を学ぶ	1通	60	2			○	○			○	
32		○		総合学習(1)	国語、算数、英語など基礎学力向上のための知識を学ぶ	1通	60	4	○			○		○		
33		○		総合演習Ⅰ	各種検定試験取得を目指すための問題演習	1通	60	2		○		○		○		
34		○		企業実習(2)	インターンシップを行い、現場で必要とされる技術を学ぶ	2前	60	2			○		○	○		○
35		○		POP実習	POP広告の基礎を学ぶ	2通	60	2			○	○			○	
36		○		グリーンプランティング	花壇、庭のデザインやレイアウトを実技を通じ学ぶ	2通	60	2			○		○	○		○
37		○		ガーデンデザイン(2)	個人宅庭園のデザインを学ぶ	2通	120	4			○	○			○	
38		○		総合学習(2)	国語、算数、英語など基礎学力向上のための知識を学ぶ	2通	60	4	○			○		○		
39		○		総合演習Ⅱ	各種検定試験取得を目指すための問題演習	2通	60	2		○		○		○		
合計					39　科目			113(2,580) 単位（単位時間）								

卒業要件及び履修方法		授業期間等	
卒業要件：	卒業には、所定の在学年限以上に在籍し、必要な授業科目を終了することが必要となる。	１学年の学期区分	2 期
履修方法：	選択履修科目のうち、1年次合計60時間以上、2年次合計60時間以上を履修する。	１学期の授業期間	15 週

（留意事項）

１　一の授業科目について、講義、演習、実験、実習又は実技のうち二以上の方法の併用により行う場合については、主たる方法について○を付し、その他の方法について△を付すこと。

２　企業等との連携については、実施要項の３（３）の要件に該当する授業科目について○を付すこと。

（別紙様式４）

令和8年10月2日

職業実践専門課程等の基本情報について

学校名	設置認可年月日	校長名	所在地
仙台総合ビジネス公務員専門学校	昭和51年3月31日	菅原　一博	〒　980-0014 （住所）　宮城県仙台市青葉区本町一丁目15-1 （電話）　022-221-1113
設置者名	**設立認可年月日**	**代表者名**	**所在地**
学校法人菅原学園	昭和35年3月26日	菅原　一博	〒　980-0014 （住所）　宮城県仙台市青葉区本町二丁目11-10 （電話）　022-221-1111

分野	認定課程名	認定学科名	専門士認定年度	高度専門士認定年度	職業実践専門課程認定年度
商業実務	商業実務専門課程	フラワー科 フラワーコーディネーター専攻	平成22(2010)年度		平成30(2018)年度

学科の目的	花卉業界の第一線を担うため、知識・技術・コミュニケーション能力を身につけ、現場で即戦力として働ける人材育成を行う
学科の特徴（取得可能な資格、中退率　等）	取得可能な資格：フラワー装飾技能士、フラワーデザイナー資格検定試験、ハーブインストラクター、食空間コーディネーター、色彩検定、リテールマーケティング（販売士）検定試験、簿記能力検定、文書処理能力検定、社会人常識マナー　など

修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数		講義	演習	実習	実験	実技
2 年	昼間	※単位時間、単位いずれかに記入	1,860 単位時間	810 単位時間	120 単位時間	210 単位時間	0 単位時間	1,440 単位時間
			83 単位	54 単位	4 単位	7 単位	0 単位	48 単位

生徒総定員	生徒実員(A)	留学生数（生徒実員の内数）(B)	留学生割合(B/A)	中退率
50 人	56 人	0 人	0 %	6 %

就職等の状況

■卒業者数（C）	: 20	人
■就職希望者数（D）	: 20	人
■就職者数（E）	: 17	人
■地元就職者数（F）	10	人
■就職率（E/D）	85	%
■就職者に占める地元就職者の割合（F/E）	50	%
■卒業者に占める就職者の割合（E/C）	85	%
■進学者数	0	人

■その他

卒業者数の割合等はフラワー科全体の情報です

（令和　　7 年度卒業者に関する令和8年５月１日時点の情報）

■主な就職先、業界等

（令和7年度卒業生）

株式会社TRUNK、株式会社太田花き、木本生花株式会社、株式会社日本セレモニー、株式会社日比谷花壇、株式会社ビューティーカダンホールディングス、株式会社リベルテ、株式会社サンフローリスト、株式会社ゴトウ花店　ゴトウフローリスト、株式会社清月記　など

第三者による学校評価

■民間の評価機関等から第三者評価：　無

※有の場合、例えば以下について任意記載

評価団体：　　受審年月：　　評価結果を掲載したホームページＵＲＬ

当該学科のホームページURL

https://www.sbs.ac.jp/

企業等と連携した実習等の実施状況（Ａ、Ｂいずれかに記入）

（Ａ：単位時間による算定）

総授業時数	1,860 単位時間
うち企業等と連携した実験・実習・実技の授業時数	0 単位時間
うち企業等と連携した演習の授業時数	0 単位時間
うち必修授業時数	0 単位時間
うち企業等と連携した必修の実験・実習・実技の授業時数	0 単位時間
うち企業等と連携した必修の演習の授業時数	0 単位時間
（うち企業等と連携したインターンシップの授業時数）	120 単位時間

（Ｂ：単位数による算定）

総単位数	83 単位
うち企業等と連携した実験・実習・実技の単位数	0 単位
うち企業等と連携した演習の単位数	0 単位
うち必修単位数	0 単位
うち企業等と連携した必修の実験・実習・実技の単位数	0 単位
うち企業等と連携した必修の演習の単位数	0 単位
（うち企業等と連携したインターンシップの単位数）	4 単位

教員の属性（専任教員について記入）

① 専修学校の専門課程を修了した後、学校等においてその担当する教育等に従事した者であって、当該専門課程の修業年限と当該業務に従事した期間とを通算して六年以上となる者	（専修学校設置基準第41条第1項第1号）	3 人
② 学士の学位を有する者等	（専修学校設置基準第41条第1項第2号）	0 人
③ 高等学校教諭等経験者	（専修学校設置基準第41条第1項第3号）	1 人
④ 修士の学位又は専門職学位	（専修学校設置基準第41条第1項第4号）	0 人
⑤ その他	（専修学校設置基準第41条第1項第5号）	1 人
計		5 人

上記①～⑤のうち、実務家教員（分野におけるおおむね５年以上の実務の経験を有し、かつ、高度の実務の能力を有する者を想定）の数	3 人

1.「専攻分野に関する企業、団体等（以下「企業等」という。）との連携体制を確保して、授業科目の開設その他の教育課程の編成を行っていること。」関係

（1）教育課程の編成（授業科目の開設や授業内容・方法の改善・工夫等を含む。）における企業等との連携に関する基本方針

「専門教育」と「人間教育」の両立を目指すCAREER　COLLEGE　菅原学園の本校は、時代の変化に即応し、今必要とされる資格、技能、技術を確実に取得できるよう専門教育に力を入れるために企業側と連携することを基本方針をしている。そして、企業側と連携することにより、学生一人ひとりの「実学の実践」「人間性の向上」「社会への貢献」を目指している。

（2）教育課程編成委員会等の位置付け

※教育課程の編成に関する意思決定の過程を明記

本校が、実践的かつ専門的な職業教育を実施するために企業等との連携を通じて必要な情報の把握・分析を行い、編成授業科目の開設や授業内容・方法の改善・工夫等を教育課程（カリキュラム）に活かすことを目的としている。「業界における人材の専門性の動向」「国または地域の産業振興の方向性」「実務に必要な最新の知識・技術・技能」「教育課程の編成に関連する事項」等を検討する。

（3）教育課程編成委員会等の全委員の名簿

令和8年4月1日現在

名　前	所　　属	任期	種別
関口　秀之	菅原章博税理士事務所	令和8年4月1日～令和9年3月31日（1年）	③
上田　佳子	株式会社うえだ	令和8年4月1日～令和9年3月31日（1年）	③
日下　将行	みどりやフローリスト	令和8年4月1日～令和9年3月31日（1年）	③
西谷　成昭	日本ビジネスマネジメント学会	令和8年4月1日～令和9年3月31日（1年）	②
成田　理恵	株式会社セノン	令和8年4月1日～令和9年3月31日（1年）	③
佐藤　浩之	仙台総合ビジネス公務員専門学校　副校長	令和8年4月1日～令和9年3月31日（1年）	―
熊倉　正浩	仙台総合ビジネス公務員専門学校　教務部部長 総合ビジネス科学科長	令和8年4月1日～令和9年3月31日（1年）	―
佐藤　僚	仙台総合ビジネス公務員専門学校　学生課課長	令和8年4月1日～令和9年3月31日（1年）	―
佐藤　結衣	仙台総合ビジネス公務員専門学校 ファッションビジネス科主任	令和8年4月1日～令和9年3月31日（1年）	―
伊藤　紫穏	仙台総合ビジネス公務員専門学校 フラワー科	令和8年4月1日～令和9年3月31日（1年）	―

※委員の種別の欄には、企業等委員の場合には、委員の種別のうち以下の①～③のいずれに該当するか記載すること。

（当該学校の教職員が学校側の委員として参画する場合、種別の欄は「－」を記載してください。）

①業界全体の動向や地域の産業振興に関する知見を有する業界団体、職能団体、地方公共団体等の役職員（1企業や関係施設の役職員は該当しません。）

②学会や学術機関等の有識者

③実務に関する知識、技術、技能について知見を有する企業や関係施設の役職員

（4）教育課程編成委員会等の年間開催数及び開催時期

（年間の開催数及び開催時期）

年2回　（8月、2月）

（開催日時（実績））

第1回　令和8年8月3日　13:00～14:00

第2回　令和9年2月開催予定　14:00～15:00

（5）教育課程の編成への教育課程編成委員会等の意見の活用状況

※カリキュラムの改善案や今後の検討課題等を具体的に明記。

本学科における教育カリキュラムおよび目指すべき人材育成像は、フラワー業界より一定の理解と評価を得ている。今後はこの評価を維持しつつ、花卉（かき）に関する知識や水揚げ技術をはじめとする基礎教育の更なる充実を図る。加えて、生花店等の現場で必要とされる商品制作や顧客対応といった実務スキルの修得を目的とし、産業界（企業）と連携した実践的なカリキュラムの導入を検討していく。

2.「企業等と連携して、実習、実技、実験又は演習（以下「実習・演習等」という。）の授業を行っていること。」関係

（1）実習・演習等における企業等との連携に関する基本方針

企業と連携し学内で学んだ実技を現場で実践し、必要とされるスキルの定着化を図る。また卒業後、即戦力として活躍できる人材を育成するため現場力を身につける。

（2）実習・演習等における企業等との連携内容

※授業内容や方法、実習・演習等の実施、及び生徒の学修成果の評価における連携内容を明記

インターンシップではフラワー業界の職業理解を深めるとともに、就業意識を高め就職に結びつくよう連携を図る。企業評価、自己評価を行うことにより、客観的な振り返りを行い、双方の認識のずれを解消し、理解を深める。

（3）具体的な連携の例※科目数については代表的な5科目について記載。

科　目　名	企業連携の方法	科　目　概　要	連　携　企　業　等
企業実習（1）	4.【校外】企業等が主催するインターンシップ等（学科が主体的に企画していないものを指す。）	ガーデニングに必要となるデザインやレイアウトの基礎を学ぶ	木本生花株式会社　など
企業実習（2）	4.【校外】企業等が主催するインターンシップ等（学科が主体的に企画していないものを指す。）	国語、算数、英語など基礎学力向上のための知識を学ぶ	株式会社とうほくフラワーサポート

3.「企業等と連携して、教員に対し、専攻分野における実務に関する研修を組織的に行っていること。」関係

（1）推薦学科の教員に対する研修・研究（以下「研修等」という。）の基本方針
※研修等を教員に受講させることについて諸規程に定められていることを明記

教職員に対し、本学園の基本理念に対する理解を徹底し、自己の責務を正しく認識させるとともに、職務に必要な実践的かつ専門的な知識、技術および技能の習得と広い視野の涵養を目的としている。特に、企業との連携して職務遂行に必要な実践的、専門的知識、技術および技能の習得や向上、広い視野の涵養を図る。なお、「教育研修規定」を設けて運用している。

（2）研修等の実績
①専攻分野における実務に関する研修等

研修名：	フラワーデザインデモンストレーション	連携企業等：	公益社団法人日本フラワーデザイナー協会
期間：	令和7年5月24日(土)	対象：	公益社団法人日本フラワーデザイナー協会会員
内容	初夏の自然から		

研修名：	フラワーデザインデモンストレーション	連携企業等：	公益社団法人日本フラワーデザイナー協会
期間：	令和8年2月22日(日)	対象：	公益社団法人日本フラワーデザイナー協会会員
内容	春の花時間～魅せるデザインとテクニック～		

②指導力の修得・向上のための研修等

研修名：	広報セミナー	連携企業等：	菅原学園
期間：	令和7年7月28日（月）	対象：	教職員
内容	専門学校志願者の意識調査から考える学生募集戦略について		

研修名：	中堅教職員研修	連携企業等：	一般社団法人宮城県専修学校各種学校連合会
期間：	令和7年12月2日（火）	対象：	専任教職員
内容	双方のコミュニケーション作り		

研修名：	管理者・監督者研修	連携企業等：	一般社団法人宮城県専修学校各種学校連合会
期間：	令和8年2月27日（金）	対象：	専任教職員
内容	薬物、匿流、ストーカー防止対策		

（3）研修等の計画
①専攻分野における実務に関する研修等

研修名：	フラワーデザイン講習会	連携企業等：	公益社団法人日本フラワーデザイナー協会
期間：	令和9年2月28日(日)	対象：	公益社団法人日本フラワーデザイナー協会会員
内容	春のトレンドデザインについて技術を学ぶ		

②指導力の修得・向上のための研修等

研修名：	教員研修	連携企業等：	菅原学園
期間：	令和8年4月1日（水）	対象：	教職員
内容	誰かのために生きるということ～教員としての生き方・在り方を再考する～		

研修名：	中堅教職員研修	連携企業等：	一般社団法人宮城県専修学校各種学校連合会
期間：	令和8年12月頃	対象：	専任教職員
内容	未定		

研修名：	管理者・監督者研修	連携企業等：	一般社団法人宮城県専修学校各種学校連合会
期間：	令和9年3月頃	対象：	専任教職員
内容	未定		

4.「学校教育法施行規則第189条において準用する同規則第67条に定める評価を行い、その結果を公表していること。また、評価を行うに当たっては、当該専修学校の関係者として企業等の役員又は職員を参画させていること。」関係

（1）学校関係者評価の基本方針

教育理念・目的・人材育成像、学校運営、教育活動、学修成果、学生支援、教育環境、学生募集と受け入れ、財務、法令等の遵守等について評価を行なう本校が、実践的かつ専門的な職業教育にかかる活動等を評価し、その自己評価結果を企業等の役職員および学校関係者と評価することにより、学生等が関係業界等のニーズを踏まえた質の高い職業教育を享受することを目的としている。

（2）「専修学校における学校評価ガイドライン」の項目との対応

ガイドラインの評価項目	学校が設定する評価項目
（1）教育理念・目標	教育理念・目的・人材育成像等
（2）学校運営	ガイドラインと同じ
（3）教育活動	ガイドラインと同じ
（4）学修成果	教育成果
（5）学生支援	ガイドラインと同じ
（6）教育環境	ガイドラインと同じ
（7）学生の受入れ募集	学生募集と受け入れ
（8）財務	ガイドラインと同じ
（9）法令等の遵守	ガイドラインと同じ
（10）社会貢献・地域貢献	ガイドラインと同じ
（11）国際交流	

※（10）及び（11）については任意記載。

（3）学校関係者評価結果の活用状況

委員から一定の評価をいただいたが、教育環境の更なる充実を計るため、防災対策についての意見をいただいた。委員の方々が所属している企業・団体での経験談など興味深い情報の提供があったため、本校でも取り入れられるものから早急に着手し、学生の安全確保に務めることとした。

（4）学校関係者評価委員会の全委員の名簿

名　前	所　　属	任期	種別
関口　秀之	菅原章博税理士事務所	令和8年4月1日～令和9年3月31日（1年）	企業
上田　佳子	株式会社うえだ	令和8年4月1日～令和9年3月31日（1年）	企業
佐藤　若菜	株式会社ハナサク	令和8年4月1日～令和9年3月31日（1年）	企業
成田　理恵	株式会社セノン	令和8年4月1日～令和9年3月31日（1年）	企業
加藤　未怜	株式会社ハナサク	令和8年4月1日～令和9年3月31日（1年）	卒業生

※委員の種別の欄には、学校関係者評価委員として選出された理由となる属性を記載すること。
（例）企業等委員、PTA、卒業生等

（5）学校関係者評価結果の公表方法・公表時期

（ホームページ　・　広報誌等の刊行物　・　その他（　　））

URL：　https://www.sbs.ac.jp/sugawara/professional-practice-course

公表時期：　令和8年10月1日

5.「企業等との連携及び協力の推進に資するため、企業等に対し、当該専修学校の教育活動その他の学校運営の状況に関する情報を提供していること。」関係

（1）企業等の学校関係者に対する情報提供の基本方針

本校では、学校教育法第四十三条および私立学校法第四十七条に準じて情報をホームページ等で公開している。情報公開により、学生・保護者・採用企業・地域社会に対して責任を追っていることを認識し、開かれた学校を目指している。

（2）「専門学校における情報提供等への取組に関するガイドライン」の項目との対応

ガイドラインの項目	学校が設定する項目
（1）学校の概要、目標及び計画	教育目的、人財育成像等
（2）各学科等の教育	各学科コースの教育内容
（3）教職員	各学科コースの教育内容
（4）キャリア教育・実践的職業教育	就職指導、就職実績
（5）様々な教育活動・教育環境	学習施設、設備
（6）学生の生活支援	学生支援
（7）学生納付金・修学支援	納入金、学費支援制度
（8）学校の財務	財務状況
（9）学校評価	自己評価、学校関係者評価
（10）国際連携の状況	
（11）その他	

※（10）及び（11）については任意記載。

（3）情報提供方法

（ホームページ ・ 広報誌等の刊行物 ・ その他（ ））

URL: https://www.sbs.ac.jp/sugawara/professional-practice-course

公表時期: 令和8年10月1日

授業科目等の概要

	（商業実務専門課程 フラワー科フラワーコーディネーター専攻）																
	分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業時数	単位数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
	必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任	
1	○			ビジネスソフト実習(1)	Word、Excelの基本操作を学ぶ（文書処理能力検定合格を目指す）	1通	60	2			○	○		○		
2	○			ビジネスマナー(1)	接客スタッフとして必要な言葉遣い、敬語、対応などを学ぶ（社会人常識マナー検定合格を目指す）	1通	60	4	○			○		○		
3	○			広告デザイン	販促活動で使用する広告制作を学ぶ	1通	60	2			○	○			○	
4	○			簿記原理	簿記の基本原理を理解し、個人商店を前提に複式簿記の基礎を学ぶ（簿記能力検定合格を目指す）	1通	120	8	○			○			○	
5	○			販売士	販売の基礎知識を身につけ接客について学ぶ（リテールマーケティング検定合格を目指す）	1通	90	6	○			○			○	
6	○			キャリアデザイン(1)	就職指導、個別進路指導、カウンセリングなど	1通	60	4	○			○			○	
7	○			ビジネスソフト実習(2)	Word、Excelの応用操作を学ぶ（文書処理能力検定合格を目指す）	2通	60	2			○	○			○	
8	○			キャリアデザイン(2)	就職指導、個別進路指導、カウンセリングなど	2通	120	8	○			○		○		
9	○			フラワーアレンジメントベーシック	フラワーアレンジメントの基礎を学ぶ（フラワーデザイナー検定合格を目指す）	1通	60	2			○	○		○	○	
10	○			フラワーアレンジメントライセンス(1)	フラワーアレンジメントの基礎を学ぶ（フラワーデザイナー検定合格を目指す）	1通	60	2			○	○		○	○	
11	○			ブーケ(1)	フラワーアレンジメントの基礎を学ぶ（フラワーデザイナー検定合格を目指す）	1通	60	2			○	○		○	○	
12	○			コサージ(1)	フラワーアレンジメントの基礎を学ぶ（フラワーデザイナー検定合格を目指す）	1通	60	2			○	○		○	○	

13	○			花束及びリボン(1)	フラワーアレンジメントの基礎を学ぶ（フラワーデザイナー検定合格を目指す）	1通	60	2			○	○		○	○	
14	○			ハーブ(1)	ハーブの生態や効能、アロマを学ぶ（ハーブインストラクター合格を目指す）	1通	60	2			○	○			○	
15	○			フラワーカラーコーディネイト(1)	色彩、配色効果を習得し花の色合わせを学ぶ（色彩検定合格を目指す）	1通	60	4	○			○			○	
16	○			業界研究	花卉業界の動向、今後について学ぶ	1通	60	4	○			○		○		
17	○			フラワーショップ論	フラワーショップの仕組みを学び、フラワーショップを運営する	2通	90	3			○	○		○		
18	○			フラワーアレンジメントアドバンス	フラワーアレンジメントの応用を学ぶ（フラワーデザイナー検定合格、フラワー装飾技能士取得を目指す）	2通	60	2			○	○		○	○	
19	○			フラワーアレンジメントライセンス(2)	フラワーアレンジメントの応用を学ぶ（フラワーデザイナー検定合格、フラワー装飾技能士取得を目指す）	2通	60	2			○	○		○	○	
20	○			ブーケ(2)	フラワーアレンジメントの応用を学ぶ（フラワーデザイナー検定合格、フラワー装飾技能士取得を目指す）	2通	60	2			○	○		○	○	
21	○			コサージ(2)	フラワーアレンジメントの応用を学ぶ（フラワーデザイナー検定合格、フラワー装飾技能士取得を目指す）	2通	60	2			○	○		○	○	
22	○			花束及びリボン制作(2)	フラワーアレンジメントの応用を学ぶ（フラワーデザイナー検定合格、フラワー装飾技能士取得を目指す）	2通	60	2			○	○		○	○	
23	○			フラワーカラーコーディネイト(2)	色彩、配色効果を習得し花の色合わせを学ぶ（色彩検定合格を目指す）	2通	60	4	○			○			○	
24	○			ラッピング＆キャリング	花束やアレンジメントなどのラッピング方法を学ぶ	2前	30	1			○	○			○	
25	○			ハーブ(2)	ハーブの生態や効能、アロマを学ぶ（ハーブインストラクター合格を目指す）	2前	30	1			○	○			○	
26	○			卒業研究	ニーズに合わせた商品開発を学ぶ	2通	120	4			○	○			○	
27		○		企業実習(1)	インターンシップを行い、業界を理解する	1後	60	2			○		○	○		○

28		○		就職対策	エントリー、面接、SPI対策	1後	60	4	○			○		○		
29		○		テーブルデザイン	日本、西洋の食文化を知り、食空間を彩る花について学ぶ	1後	60	2			○	○			○	
30		○		華道	日本古来の文化、花を学ぶ（小原流本科取得を目指す）	1通	60	2			○	○			○	
31		○		ガーデンデザイン(1)	ガーデニングに必要となるデザインやレイアウトの基礎を学ぶ	1通	60	2			○	○			○	
32		○		総合学習(1)	国語、算数、英語など基礎学力向上のための知識を学ぶ	1通	60	4	○			○		○		
33		○		総合演習Ⅰ	各種検定試験取得を目指すための問題演習	1通	60	2		○		○		○		
34		○		企業実習(2)	インターンシップを行い、現場で必要とされる技術を学ぶ	2前	60	2			○		○	○		○
35		○		POP実習	POP広告の基礎を学ぶ	2通	60	2			○	○			○	
36		○		グリーンプランティング	花壇、庭のデザインやレイアウトを実技を通じ学ぶ	2通	60	2			○		○	○		○
37		○		ガーデンデザイン(2)	個人宅庭園のデザインを学ぶ	2通	120	4			○	○			○	
38		○		総合学習(2)	国語、算数、英語など基礎学力向上のための知識を学ぶ	2通	60	4	○			○		○		
39		○		総合演習Ⅱ	各種検定試験取得を目指すための問題演習	2通	60	2		○		○		○		
合計					39　科目			113(2,580) 単位（単位時間）								

卒業要件及び履修方法		授業期間等	
卒業要件：	卒業には、所定の在学年限以上に在籍し、必要な授業科目を終了することが必要となる。	１学年の学期区分	2 期
履修方法：	選択履修科目のうち、1年次合計60時間以上、2年次合計60時間以上を履修する。	１学期の授業期間	15 週

（留意事項）

１　一の授業科目について、講義、演習、実験、実習又は実技のうち二以上の方法の併用により行う場合については、主たる方法について○を付し、その他の方法について△を付すこと。

２　企業等との連携については、実施要項の３（３）の要件に該当する授業科目について○を付すこと。